開館時間

9~17時(入館は16時30分まで)

休館日

月曜日(月曜が祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月28日~1月4日) そのほかに臨時休館日があります。 内面のカレンダーをご参照ください。

### 観覧料

(特別観覧期間中を除く)

区 分	個 人	団体
一般	400円	350円
高校·大学生	300円	250 円
小·中学生	200円	150 円

- ①特別展開催中は、常設展のみの見学も観覧料金が変わります。 ご注意ください。
- ②下記に該当する場合は無料となります。

国内の18歳未満及び高校生、65歳以上(平日のみ)、身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい保険福祉手帳の所持者および付き添い1名、留学生まほろばパスをお持ちの方、外国人観光客と一緒に来館するボランティアガイド(公益社団法人日本観光振興協会発行の観光ボランティアガイド組織一覧に掲載された団体の会員)。 それぞれ証明するものの提示が必要です。

## 施設のご案内

駐車場(無料):約40台駐車可能

ホール (無料): 県内遺跡分布模型・ビデオライブラリー

情報コーナー (無料):図書資料の閲覧

ミュージアムショップ: 当館オリジナルグッズ・図録や報告書等の販売コインロッカー (100円硬貨返却型)・車いすの貸出 (無料)・FREE Wi-Fi・バリアフリートイレ (オストメイト・おむつボード等)



# •

### 黨 橿原考古学研究所附属博物館

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 50-2 TEL(0744)24-1185 FAX(0744)24-1355 URL http://www.kashikoken.jp/museum/

# 奈良県立

# 橿原考古学研究所附属博物館

# 展覧会のご案内



藤ノ木古墳/ 金銅製冠(復元品)

2025年 9月

►► 2026年 3月

THE MUSEUM,
ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA
NARA PREFECTURE

# 展覧会のご案内 2025.10~2026.3

令和7年度 秋季特別展

## きらびやかに送る

-国宝・藤ノ木古墳出土品修理事業成果展1-

会期:10月4日(土)~11月30日(日)

藤ノ木古墳は、斑鳩町に所在する数 少ない未盗掘の大型古墳として著名 です。大型の横穴式石室内からは、多 量の須恵器、馬具、武器・武具などが 出土し、鞍金具は東アジア屈指の名宝 として注目されています。さらに、くりぬ き式の家形石棺内からも冠、玉類、銅 鏡、刀剣、大帯、履などの多量の副葬 品が出土し、その豪勢な内容から、葬 られた人はかなりの権力者であったこ とが想定されています。



金銅製冠(文化庁蔵)

今回は、現在進行中の国宝・藤ノ木

古墳出土品修理事業が節目の5年目を迎えましたので、それを記念して 修理が完了した冠、銅鏡、銀装刀子、履などの被葬者の周辺に置かれた葬 送用大型装身具を中心に、修理の状況および関連出土品を紹介しなが ら、従来の切り口とは違う角度から藤ノ木古墳の実態に迫ってみたいと思 います。

【研究講座】 於:橿原考古学研究所 講堂 各回13時~(12時開場) 第1回 10月19日(日)

平井洸史(当博物館)「装飾刀子からみた藤ノ木古墳の時代」 土屋隆史(宮内庁書陵部)「金銅製装身具からみた藤ノ木古墳と葬送儀礼」

#### 第2回 11月9日(日)

计田淳一郎(九州大学)「藤ノ木古墳出土の鏡をめぐる諸問題」 右島和夫(群馬県)「横穴式石室から見た藤ノ木古墳と綿貫観音山古墳 東アジアの大型墓の比較検討から有力者の葬送儀礼を考えるー」

#### 第3回 11月29日(土)

シンポジウム「保存科学が拓く文化遺産の世界

一藤ノ木古墳、沖ノ島祭祀遺跡、そして世界遺産―」

【列品解説】日時:10月11日(土)、11月1日(土)、11月22日(土)

各回 ①10時30分~11時30分 ②14時30分~15時30分



## 「大和の考古学-目で見る日本の歴史-」

橿原考古学研究所は1938年より奈良県の遺跡調査を手がけてき ました。常設展示では、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時 代、飛鳥・奈良時代、平安~室町時代の遺跡から出土した考古資料 を時代別に展示しています。日本考古学を代表する奈良県出土の実 物資料をとおして「目で見る日本の歴史」をご覧下さい。

#### 特別陳列

# 英国サットン・フー船葬墓と藤ノ木古墳(仮)

- ユーラシア東西の未盗掘墓 -

会期: 2025年12月13日(土) ~ 2026年1月18日(日)

特別陳列

# 大和城郭の考古学

会期:2026年2月7日(土)~3月15日(日)

第9回 考古学写真甲子園

## 「古墳のある風景」を撮ろうVII 過去と現在の共生

「過去と現在の共生」をテーマに、現代社会に溶け込む古墳の風景の 写真を募集します。

対象: 学生個人(小・中学生、高校・大学生、通信教育、専門学校生等含む) 締切:2026年1月9日(金)必着

作品展:2026年2月15日(日)~3月15日(日)

#### 展覧会カレンダー 2025年度

	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	±	日	月	火
10月			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				
11月						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
1月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
2月							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
3月							-1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31